



農協だより

Vol.114

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 28 年 2 月

稲作講習会

♪皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください♪

内容 ☆健苗育苗と田植後の管理まで
☆箱剤、除草剤等の効果的な使用方法について

時間 午前の部・10:00より
午後の部・1:30より

各支店の日程

日時	3月14日(月)		3月15日(火)		3月16日(水)		3月17日(木)		3月18日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
会場	畑賀 2階	阿戸 2階	熊野 2階	中須賀 2階	上瀬野 3階	中野 2階	瀬野 2階	東海田 2階	追分	初神 老人集会所

28年産米市町別生産数量目標

国は、米の需要見通しを基本に、需要動向等を踏まえて、平成28年産米の全国生産数量目標を743万トンと設定し、広島県の生産数量目標は前年産米に比べ1,385トン減の128,585トンと算定されました。市町別生産数量については、平成27年産米の需要量に関する情報による面積換算値(ha)と実際に作付された作付実績面積(ha)と平成28年産米の需要量に関する情報の生産量(kg)と面積換算値(ha)が下記の表のとおりとなりましたのでご報告いたします。

市町	平成28年産米		平成27年産米			
	生産数量目標 (kg)	面積換算値 (ha)	生産数量目標 (kg)	面積換算値 (ha) A	作付け実績 (ha) B	B/A
広島市	5,703,685	1127.2	5,765,120	1,137.1	1092.0	96.0%
安芸区	2月に決定		659,610	130.1	124.5	95.6%
JA安芸			643,890	127.0	121.7	95.8%
海田町	70,986	15.1	71,750	15.2	13.7	90.1%
熊野町	643,103	128.4	650,030	129.5	調査中	
坂町	8,222	1.8	8,110	1.8	1.1	61.1%

馬鈴薯の植付け

2月下旬頃より種イモの植付けが行えます。馬鈴薯は酸性土壌に強く石灰質肥料や堆肥・鶏ふんなどを多く施用し土壌の酸度を下げすぎるとそうか病の原因となりますので、通常の野菜の半分程度までとします。石灰欠乏の発生が予想される場合は「畑のカルシウム」を㎡当り100g施用してください。

伏せ込み7日前に基肥として有機8号を120g/㎡施し畦幅120cm程度で畦立てをします。この時そうか病がひどい圃場ではネビジン粉剤も60g/㎡施しておきましょう。マルチ栽培をされる場合は、ベストマッチ等のロング肥料を基肥に利用すると追肥が省力できます。

種イモの調整前に20日程度10~20℃で管理し光に当てて芽が4mm程度になった頃に植付けすると発芽が促進されます。(浴光催芽)

種イモはへそを中心に1片が40gになるように調整し、切り口が乾けば伏せ込みとなります。地表より5cm程度の溝を切り後に伏せ込みしますが、マルチを利用する場合は元寄せが行えないのでマルチを張る前に種イモの深さが10cm程度になる様元寄せします。

芽が出てきたらマルチ栽培ではビニールが押し上げられますので早目に穴を開けて、芽を地表に出しましょう。発芽が揃ったら芽が伸びすぎない内に2~3本に芽かぎを行います。デジマは芽かぎを行うとイモが大きくなりすぎるため放任とします。2月に伏せ込みした場合は霜で芽が枯れる事がありますが、次の芽がまた伸びてきます。

追肥は芽かぎ後と開花頃に行い、多木V化成をそれぞれ30g/㎡施し元寄せを行います。2回目の元寄せはイモが地表に出ない様にしっかりと行いましょう。(裸地栽培)

5月下旬頃よりアブラムシやニジュウヤホシテントウが多発する事がありますので発生初期にアディオン乳剤やスミチオン乳剤等を、また梅雨に入ると疫病が発病しやすくなりますので被害開始めにプロポーズ顆粒水和剤等で防除します。いずれも被害が蔓延すると他の作物まで被害が拡大しますので早目に防除してください。

茎が2/3程度黄化してくれば収穫時期になります。2月に伏せ込みした場合は5月下旬頃より収穫が行えますが、試し掘りを行いイモが大きくなっているのを確認後、2~3日晴天が続いた後に収穫を行います。収穫が遅れるとスが入りますので取り遅れない様にします。

掘り上げ直後のイモは皮が非常に軟らかいため皮切れさせない様丁寧に取り扱ひ、半日程度日に当ててから取り込みをします。貯蔵中、日が当たると変色してきますので影になる様に保管するとともに、貯蔵中にジャガイモガの幼虫による食害が出る事があります。放置しておく被害が拡大しますので、加害されたイモは早目に破棄してください。

マルチ馬鈴薯植付け

